

# 磐崎小学校だより

いわき市立磐崎小学校 文責：校長 圓谷 貴



## 個別懇談、お世話になりました。

10月23日(火)～26日(金)の個別懇談については、お忙しい中お時間をとっていただき、誠にありがとうございました。  
日頃の子どもたちの様子や、少し気になっていること等をお互いに情報交換の機会を持つことで、新たな気づきや安心感につなげることができたかと思えます。  
子どもたちの健やかな成長のために、保護者と担任が話し合っておくことはとても重要なことです。ご心配なことがある場合は、いつでもご相談ください。

## 県PTA研究大会(喜多方大会)から・・・ゲーム脳

10月14日(日)、県PTA研究大会が喜多方市で行われました。本校からは、五味渕会長様、四柳副会長様、校長の三人で参加して参りました。  
研修活動をテーマとして、ゲーム依存症(ゲーム障害)の話がありました。  
最近、体力の低下、視力の低下、肥満、キレる子の増加が課題となっていますが、10歳以下で一日5時間以上ゲームをやっている子は、脳の発達や神経回路網に大きな異常が見つかるそうです。脳波や血流に明らかな変化が現れ、前頭葉の働きが悪くなります。「人間破壊」という言葉でその恐ろしさの報告がありました。  
本校の調査結果からも人ごとではありません。ゲームは1時間以内とご家庭でもルールを決めて利用させてください。



## 子どもとのかかわり方(愛情をかけた手作業)

最近、子ども同士のトラブルがよくみられます。ケンカの原因を聞くと大した事ではありません。結局は、家庭や学校での出来事も含め、何か心の中にモヤモヤしたものが原因で、トラブルを引き起こすことが多いように思われます。  
教育は手作業です。家族間においてコミュニケーションは取れているでしょうか。  
親の気付かないところで、子どもたちがストレスを抱えていることが多いように感じます。是非、子どもたちとかかわる時間を多くとっていただき、褒めたり認めたりする機会を通して、自己肯定感や安心感を持たせて欲しいと思います。

## ワンポイントアドバイス⑪ ～人間の発達段階～



○ 児童期(6～10歳)「勤勉性」を身につける時期。  
子どもに合った課題を与え、それが成功体験になるよう援助し、成就感、達成感をたくさん体験させることが必要です。失敗しても何とかできるという感覚の習得も大切です。言葉や数を急速に獲得する時期でもあるので、認知力の発達を理解しておきましょう。

児童期・学齢期は、子どもが学校に入り、それまでとは比べ物にならないくらい知識や技術を学習したり、友だちとの集団生活に適応したりする時期です。  
発達課題は勤勉性vs劣等感です。  
ここでいう勤勉性とは、社会に関心を示して自発的に加わろうとしたり、宿題など物事を完成させることで周囲から認められたりするといったものを学習することです。いくら頑張ってもうまくいかず、周囲に認められない経験が積み重なると、自信を無くして劣等感を募らせていきます。劣等感が強まると、友だち関係や学力など様々なところに影響を及ぼし、学校不適応に陥る可能性も高まります。